

鹿児島県立博物館研究報告

第17号 (平成10年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No.17 (1998)

寺田 仁志：鹿児島県竹島と硫黄島の植生と硫黄島の植物相	1
山元 幸夫：トカラ列島・中之島の冬期の鳥類調査(2)	34
黒江 修一：永田川河口干潟のスナガニ類について	39
成尾 英仁：鹿児島県北西部地震による阿久根市での液状化	43
上田 聡：プラネタリウムにおける映像の作成について	51
井出口龍哉：博物館常設展の展示更新	55

Jinshi TERADA : Vegetation of Kagoshima Prefecture's Ioujima and Takeshima	1
Yukio YAMAMOTO : An Ecological Survey of Birds in Winter on Nakanoshima in the Tokara Islands (2)	34
Shuichi KUROE : Crabs on the Tidelands of the Nagata River Estuary in Kagoshima City	39
Hideto NARUO : Liquefaction Caused by Kagoshima-Hokuseibu Earthquake in Akune City, Kagoshima	43
Satoshi UEDA : A Method for Image Production in Planetariums	51
Tatsuya IDEKUCHI : The Renovation of the Kagoshima Prefectural Museum's Permanent Exhibit	55

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

KAGOSHIMA, JAPAN

はじめに

博物館は、資料を集めて展示しているだけではないということが広く理解されるようになり、利用者の博物館の役割に対する要望や期待感は多様化・高度化しています。また、各研究分野が細分化された中で、広い視点での調査研究が博物館の役割のひとつになりつつあります。

従って、これらに応えるために博物館での調査研究活動は一層重要性を増してきています。

当館でもこれらのことを十分理解し、資料整備や移動博物館・教育普及活動等の博物館活動を行いながら、主に自然科学に関する調査研究活動を展開しています。

鹿児島は、大陸の東縁に連なる日本列島から東南アジア諸島までを視野に入れると、ほぼその中央に位置し、生物学的にも地質学的にも多彩で変化に富んだ地域です。当館ではそのことを重視して多様な調査研究を行っていますが、そのひとつが薩南諸島・トカラ列島の調査です。その報告は、第6号に始まり本17号で計26編になります。これらと、「鹿児島の自然調査事業」でまとめた報告書（Ⅰ～Ⅴ）を併せてご利用いただければ、鹿児島の自然の豊かさが十分御理解いただけると思います。

本書では、上記のほか県本土の自然や博物館学に関する考察をまとめました。鹿児島の豊かな自然や博物館活動の理解を深めるために、多くの方々にご利用いただければ大変幸いに思います。

平成10年3月

鹿児島県立博物館
館長 井出口 龍 哉

鹿兒島県立博物館研究報告
第17号 (平成10年)

発行日 平成10年 (1998年) 3月31日

発行所 **鹿兒島県立博物館**

〒892-0853

鹿兒島市城山町1-1 (Tel 099-223-6050)

(Fax 099-223-6080)

印刷所 **青葉印刷有限会社**

〒890-0045

鹿兒島市武二丁目31-2 (Tel 099-251-1821)